

(第2号様式)

大特第 2789 号
令和5年 2月 24日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立大平特別支援学校
校長 大城 政之
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年7月5日	場所	寄宿舎食堂	出席状況	5
第2回	日時	令和4年12月13日	場所	寄宿舎食堂	出席状況	4
第3回	日時	令和5年2月21日	場所	寄宿舎食堂	出席状況	5

2 学校評議員に求めた事項

- ①コロナ禍における感染防止対策と安心安全な教育活動の在り方について
- ②コロナ禍における学校、保護者、地域及び関係機関との連携体制の在り方とその方法について
- ③本年度本格実施となる教科中心の教育指導の成果と課題について

3 学校評議員の意見

- ①基本的な感染対策(手洗い、マスク着用、体制整備)の徹底とコロナ発生時に早急に対応できる体制づくりの徹底により安心安全な教育活動に取り組む必要がある。
- ②依然として多くの場面でコロナの影響を受ける状況下であるが、授業参観や行事等の開催方法を工夫し、保護者や関係機関の理解を得ながら実施できる方向で取り組んでもらいたい。
- ③新教育課程の実施に伴い、「何を学ばせるか」・「何ができるようになったか」という観点からの学習指導が重要となり、その結果としての児童生徒自身の主体性の変化について評価する機会を設けることも大切であると思う。

4 学校運営に反映した事項

- ①健康教育部を中心とした感染防止への取り組みの継続、コロナ陽性者発生時の早急な連絡および対応により、校内での感染拡大を最大限に抑えられる体制を学校全体として継続的に行った。
- ②授業参観、運動会等の行事の持ち方を工夫し、保護者や関係機関の理解・協力のもと実施した。
- ③校内研修等により3観点を踏まえた学習指導と評価について取り組み、更に学校評価(児童生徒)において、主体性に関して問う項目を設定し、その変化について評価を行った。

5 課題その他

- ①安心安全な体制強化(災害発生時や感染症等)のため保護者、地域関係機関との連携継続・強化
- ②地域に開かれた学校学校の在り方について、自治体や関係機関との連携体制づくりを進める